

広瀬川の河川整備状況について

令和6年5月17日
宮城県土木部河川課



明日につなぐ×ミヤギの未来
宮城県土木部

○広瀬川の河川整備状況

1. 河岸侵食対策

- 河岸侵食の激しい箇所について、数十年規模の洪水を対象に、防止対策として護岸や根固工を実施済み。

2. 流下阻害対策

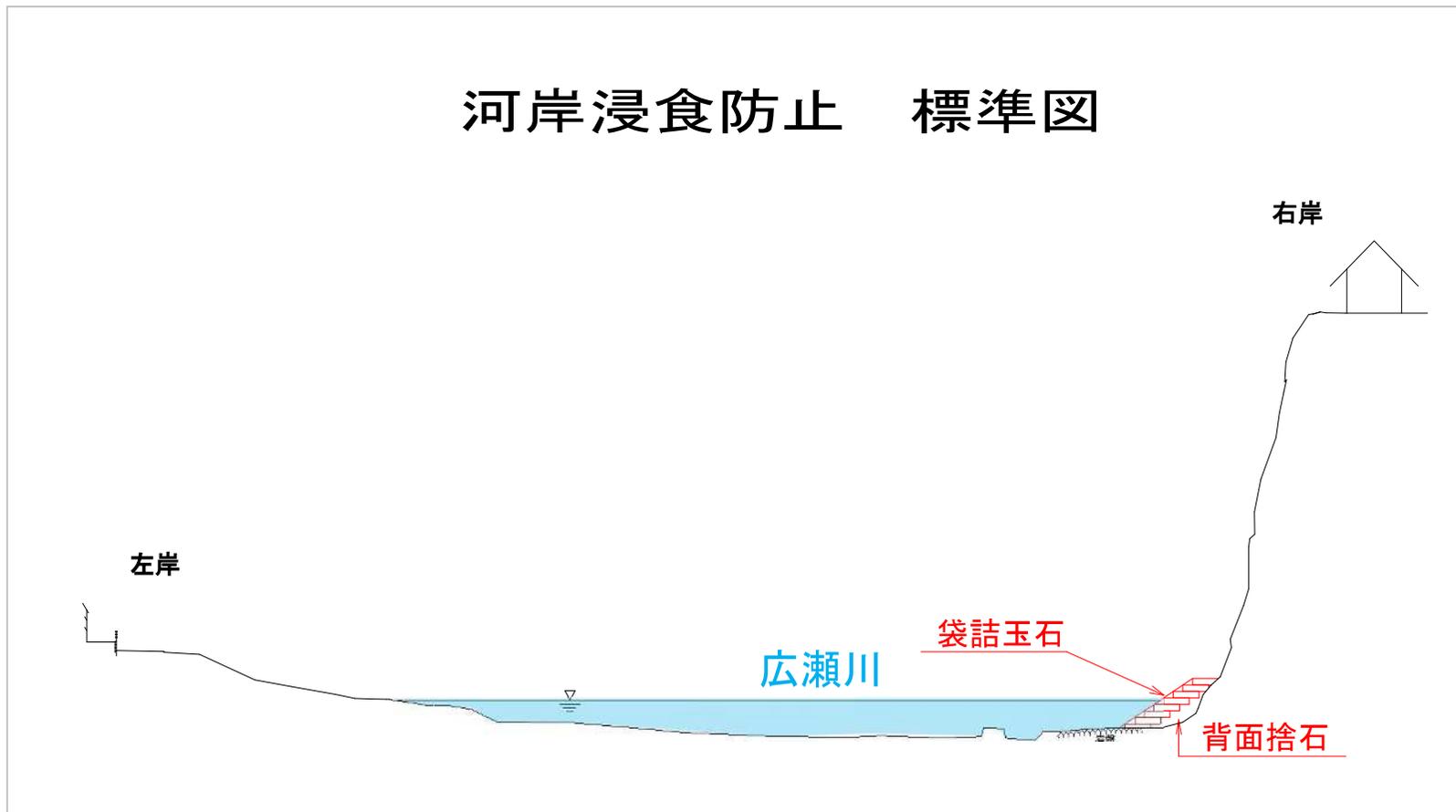
- 広瀬橋～牛越橋上流区間について、洪水の流下を阻害している河道内の樹木や中州、寄州について、伐採、河道掘削等を計画的に実施。

○河岸侵食対策

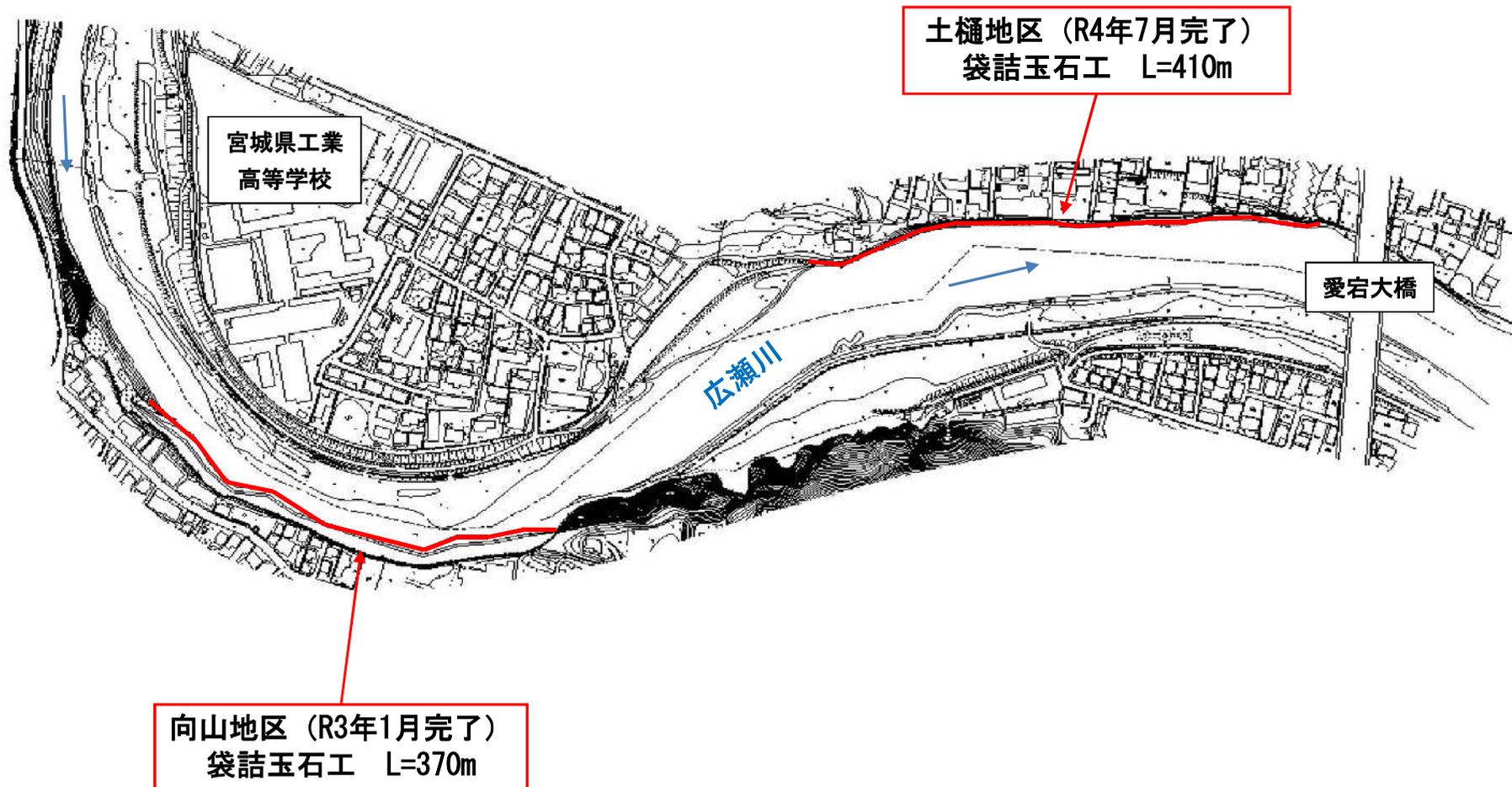
➤ 計画箇所

1. 向山地区 施工延長 L=370m (R3年1月完了)
2. 土樋地区 施工延長 L=410m (R4年7月完了)

河岸浸食防止 標準図



○河岸侵食対策工箇所図



○河岸侵食対策写真

向山地区



土樋地区



○ 流下阻害対策

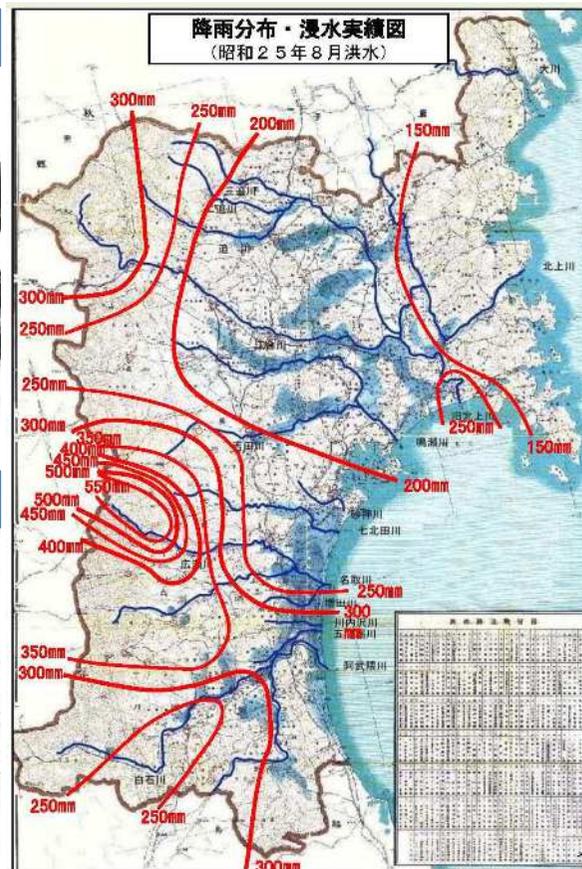
➤ 治水目標

昭和25年8月洪水と同規模の洪水が発生しても、床上浸水等の重大な家屋被害を防止する。**【戦後最大】【再度災害防止】**

昭和25年8月洪水（広瀬川宮沢橋流出）

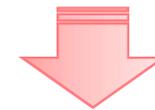


昭和25年8月洪水（広瀬川愛宕橋上流）



【昭和25年8月洪水】

- ・名取川流域の山地部において総雨量400mm以上を記録。
- ・広瀬橋地点における流量は3,100m³/sと算定。



【治水対策】

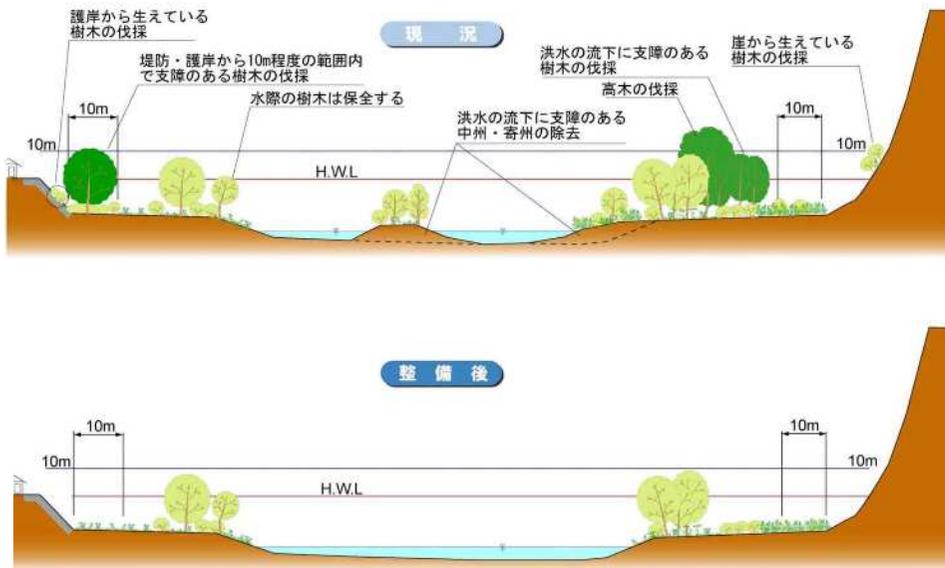
- ・既設大倉ダムで調整（700m³/sカット）
- ・河道内の樹木管理
- ・河道掘削（中州等）
- ・築堤（流下能力不足区間）
- ・嵩上げ

○流下阻害対策

【広瀬川管理計画】

(H14～H17に開催の**広瀬川環境管理協議会**にて、「**広瀬川管理計画**」を策定。H20に一部見直し)

- 河川整備計画における目標流量の達成に向け、河川環境に十分配慮し、樹木管理(伐採)や中州・寄州の除去を行う。
- 樹木管理(伐採)及び中州・寄州の除去は、**宮城県と地域住民や広瀬川に関わるNPOと協働で作成した「広瀬川管理計画」に基づき実施。**
- **環境影響を把握するため、モニタリング調査を継続して実施。**



昭和32年(1957年)1月



昭和32年(1957年)1月



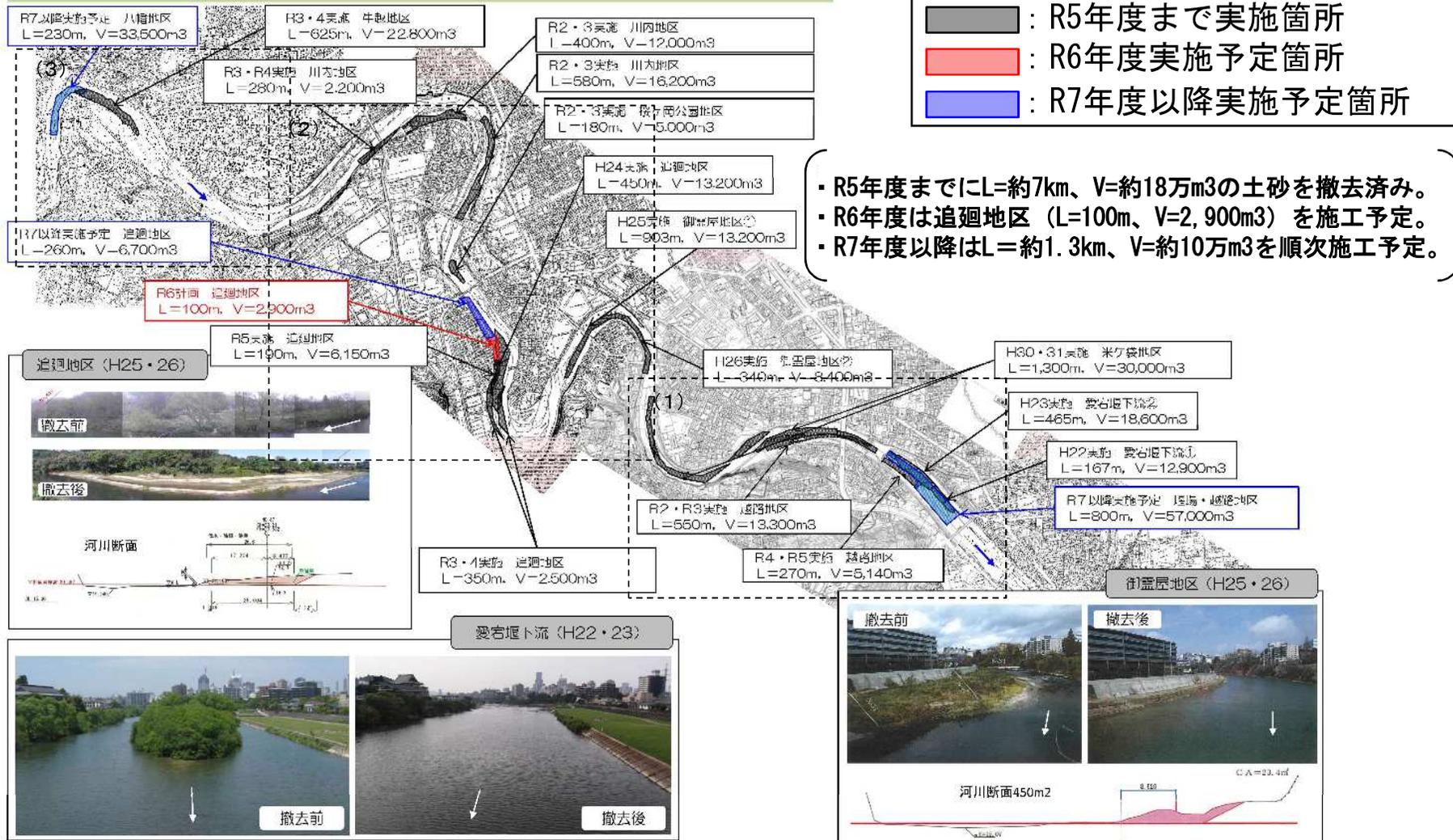
愛宕堰下流中州
平成20年(2008年)6月



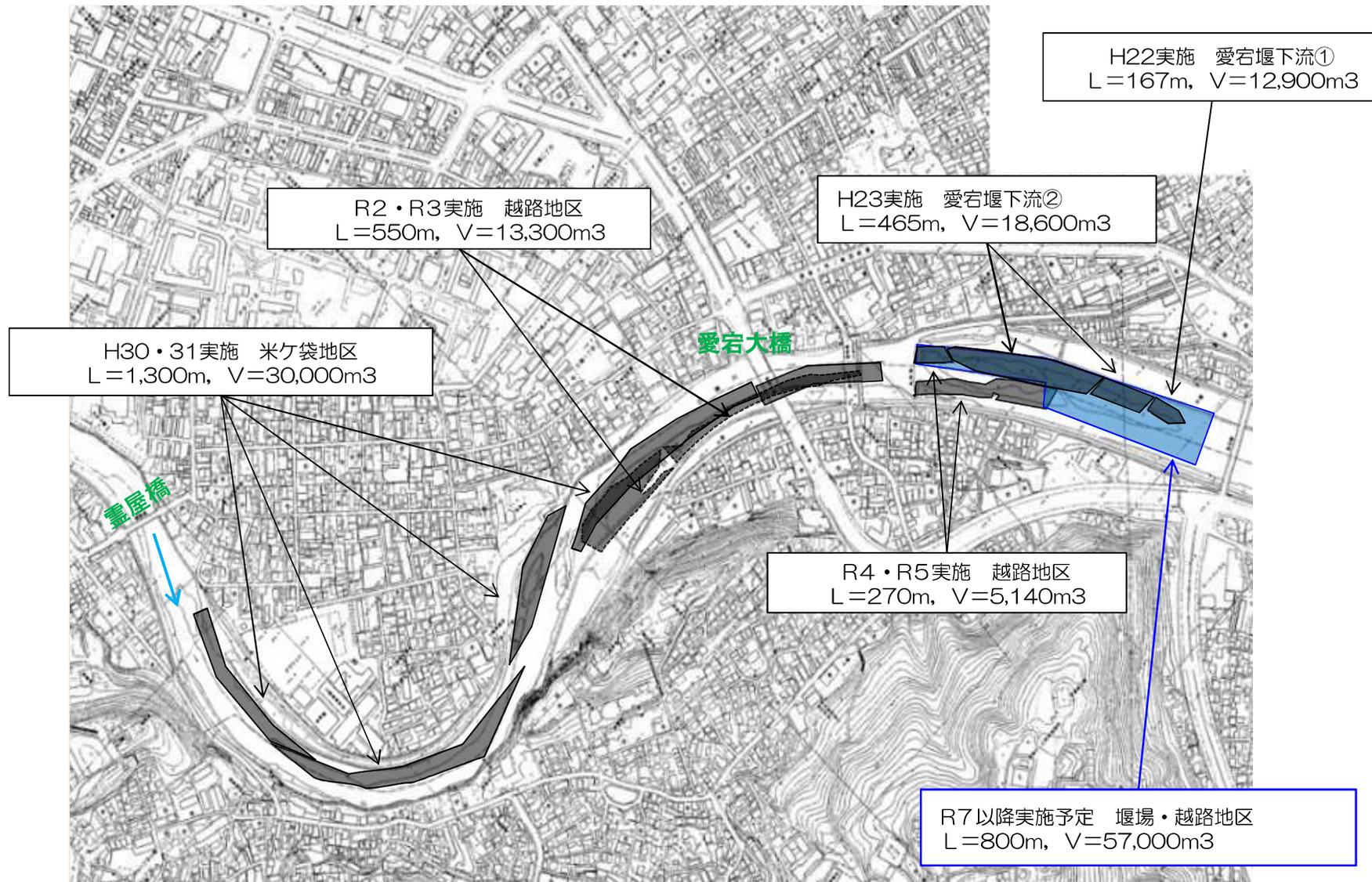
澗橋上流寄州
平成20年(2008年)6月

○河道掘削工事実施状況平面図

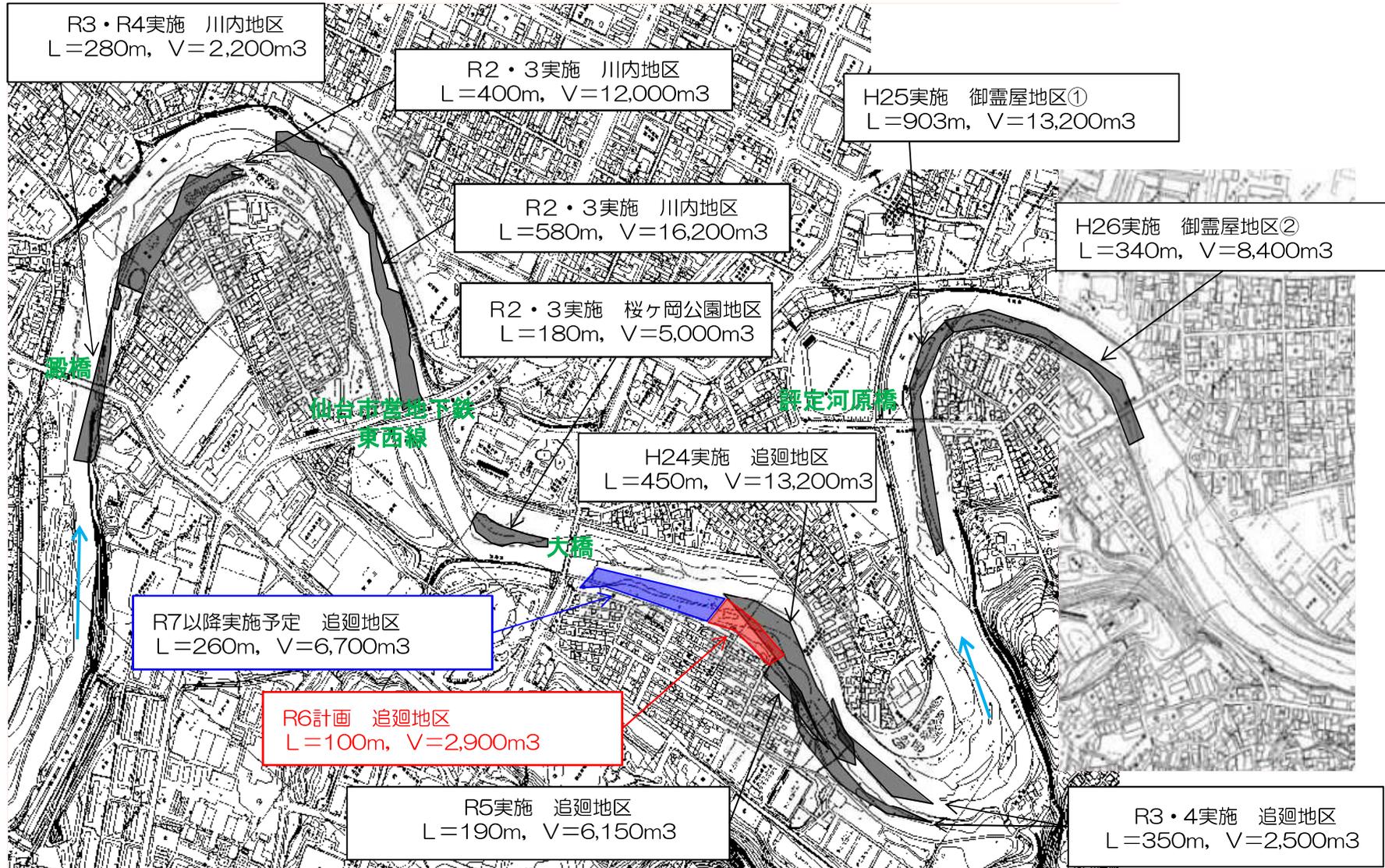
○一級河川名取川水系広瀬川 河道掘削工事実施状況平面図



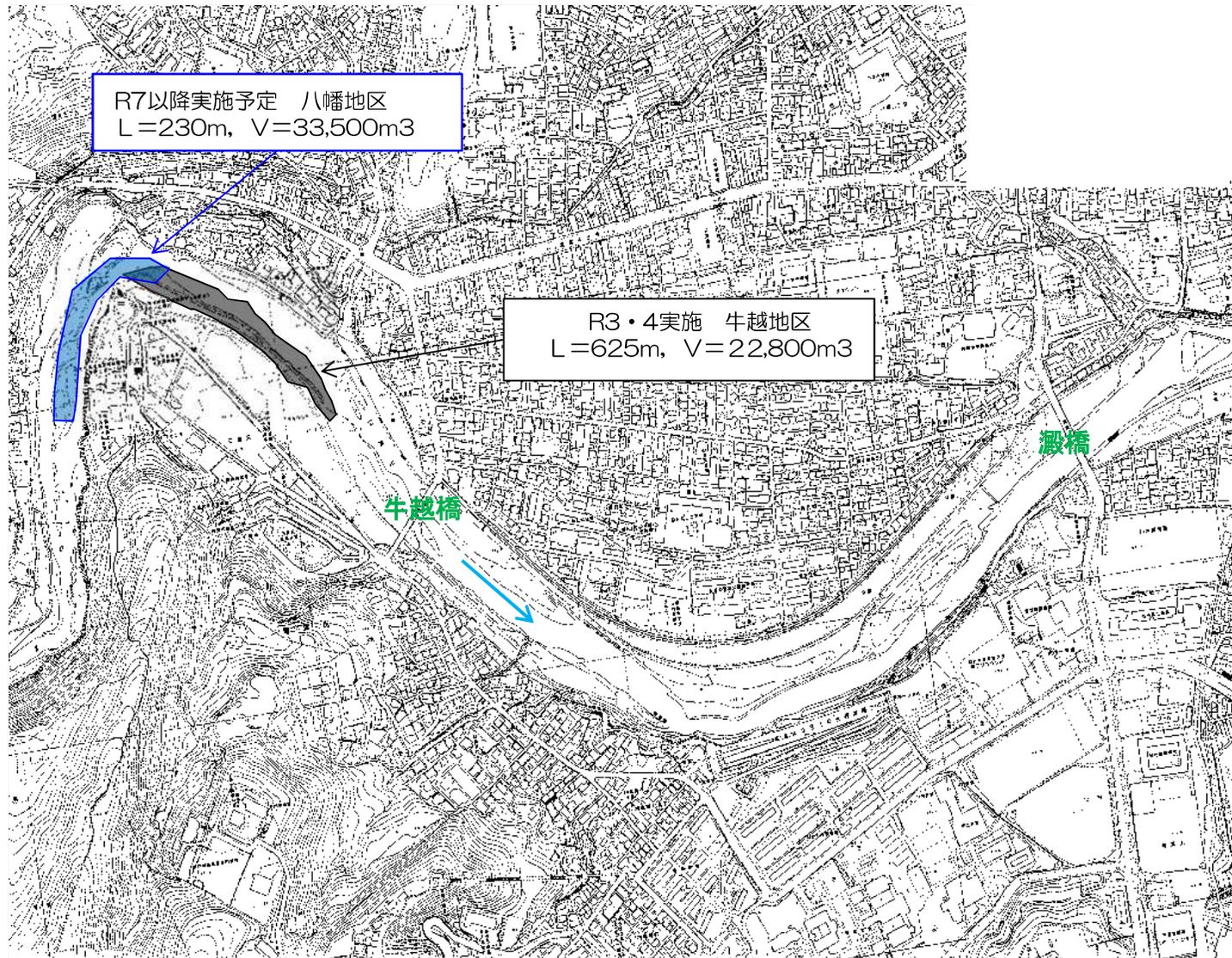
○河道掘削工事実施状況平面図 拡大図 (1)



○河道掘削工事実施状況平面図 拡大図 (2)



○河道掘削工事実施状況平面図 拡大図 (3)



○流下阻害対策写真

牛越地区



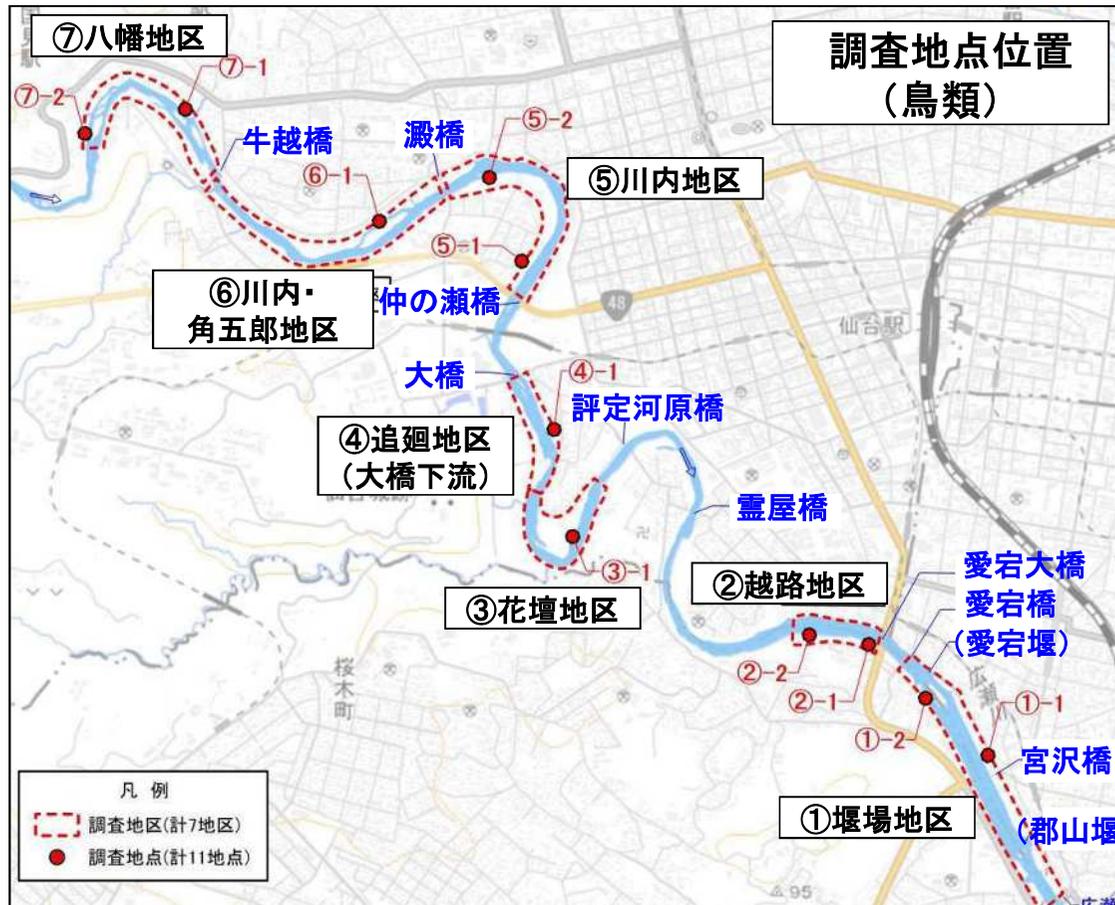
追廻地区



○鳥類定点観測によるモニタリング調査

【モニタリング調査】

河道掘削箇所における鳥類のモニタリング調査により、生息状況の把握を実施。



- 調査箇所: 7地区 11地点
- 調査方法: 定点観察、任意観察
- 調査回数: 3回 (夏季、秋季、冬季)

令和5年度モニタリング調査結果(鳥類)

■ 確認種数

本年度は68種(夏季45種、秋季51種、冬季53種)で近年と同水準。

調査範囲が「広瀬橋～大橋」に広がった平成23年度以降は、概ね70種程度が確認されており、安定的に推移。

■ 重要種

出現頻度の高い種は全て確認された。

⇒広瀬川全体の鳥類相は維持されているといえる(段階的施工の効果と考えられる)。

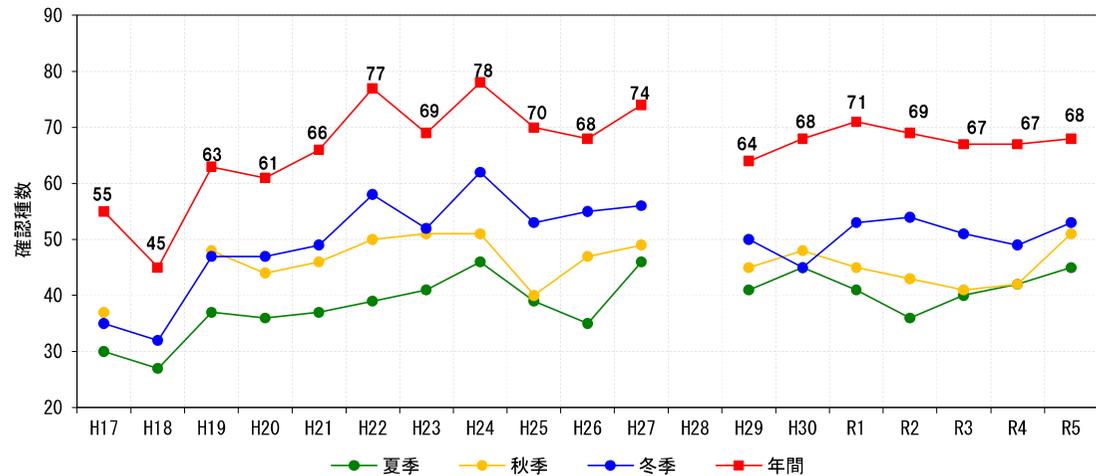


図3-1 鳥類確認種数の経年変化(全地区)

表3-1 重要種の経年確認状況(全地区) □:出現頻度が高い重要種

No.	種名	渡り区分	環境利用形態	調査年度																	確認状況
				H17	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
1	オシドリ	留鳥	I	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎(ほぼ毎回確認)	
2	コサギ	留鳥	II	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎(ほぼ毎回確認)	
3	イカルチドリ	留鳥	II		●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○(概ね確認)	
4	オオセグロカモメ	留鳥	II				●		●	●	●	●								△(不明瞭)	
5	ミサゴ	留鳥	III				●			●	●	●	●	●		●	●	●	●	○(概ね確認)	
6	ハチクマ	夏鳥	III	●																△(不明瞭)	
7	オジロワシ	冬鳥	III					●											●	△(不明瞭)	
8	ハイタカ	留鳥	III					●	●		●						●	●		△(不明瞭)	
9	オオタカ	留鳥	III	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○(概ね確認)	
10	サシバ	夏鳥	III															●		△(不明瞭)	
11	ヤマセミ	留鳥	II		●														●	△(不明瞭)	
12	ハヤブサ	留鳥	III	●		●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	◎(ほぼ毎回確認)	
13	サンショウクイ	夏鳥	IV									●						●		△(不明瞭)	
14	オオムシクイ	夏鳥	IV															●		△(不明瞭)	
合計	14種	—	—	5種	5種	5種	5種	7種	7種	7種	8種	7種	8種	6種	7種	5種	5種	6種	7種	6種	—

本年度は出現頻度の高い種が全て確認された

出現頻度が高い種の利用環境
 ・オシドリ、コサギ、イカルチドリ →水辺
 ・ミサゴ、オオタカ →上空通過(猛禽類)
 ・ハヤブサ →花壇地区の右岸崖に営巣

○地域への情報周知

【工事情報の周知】

○広瀬名取川漁業協同組合や日本野鳥の会をはじめ、仙台市や地域住民と事前調整し工事内容を共有しています。

○工事周辺地域の住民の方々へチラシを配布し、工事予定を周知しています。

【今後の対応】

○これまでの対応に加え、以下により、広く情報周知を図ります。

- ・宮城県仙台土木事務所のホームページ及び宮城県土木部公式Instagramに工事情報を掲載します。
- ・仙台市と連携し、仙台市ホームページに工事情報を掲載できるよう調整を進めています。